

自治会の加入促進・活性化の取組について

1 川崎市社会福祉協議会の取組（川崎市社会福祉協議会 HP より抜粋）

○地域活性化支援アプリの開発・実証実験

- ・目的：自治会への加入促進・若年層の参加
- ・主な機能：地域情報の配信・地域クーポンの提供
- ・実証地域：川崎市 中原区・宮前区
- ・実証期間：令和8年6月30日まで(予定)

2 北九州市のこれまでの取組

(1) デジタルを活用した情報発信等に関する支援

○LINE 公式アカウント作成支援 モデル事業(R6年度)

LINE 公式アカウントの立ち上げを希望する自治会等に対し、NPOが伴走支援。

○まちづくり専門家派遣事業(～現在)

デジタルを活用して、情報発信や連絡体制の確保を検討する自治会等に対し、専門家を派遣。

○スマートフォン体験講座(～現在)

デジタルデバインド対策として、市民センター等でスマホ講座を開催。

(2)自治会加入者へのインセンティブ創出

○自治会パスポート実証事業(R7年度)

市内の一部地域にて、自治会加入世帯に加入者であることを示すカード(パスポート)を配布し、事業への協力店舗で割引等を受けられる仕組みを試行的に実施。

※北九州市自治会総連合会の補助事業として実施

3 北九州市の新たな取組

○地域のチカラつなぐプロジェクト(R8年度新規)

LINEの活用等による地域情報のスムーズな伝達・共有の仕組みや、デジタルを活用した誰もが参加しやすい互助の仕組みを構築